

# 麻酔科

## 【スタッフ】

平田 孝夫 (麻酔科部長)  
福田 稔 (麻酔科医長)  
尾野本 真徳 (麻酔科医長)  
長畑 佐和子 (歯科口腔外科医長)

## 【概要】

手術部スタッフと協力し「手術室で働く全ての人が、自信を持って、誇らしく働く環境、そしてお互いを尊重し、助け合いの精神」をモットーに手術室運営を行っております。術中の麻酔管理のみならず、術前・術後を含む周術期医療の安全向上を多職種スタッフとともに努めています。

令和4年10月より看護師による手術室内での特定行為実施の効果もあり、麻酔科スタッフに過度の負担を強いることなく、予定手術の約82%を17時までに搬入、19時にはほぼすべての手術症例を終了できるように、従来通り運用できました。令和6年4月に始まった医師の働き方改革に対応できる手術室運営を心がけました。

麻酔管理症例数は前年と比べ175例多い1,820例でした。

教育・指導面では、「患者一人ひとりに安全で優しい、安心できる麻酔の提供」を心がけるという当科の目標のもと、個々の症例に対し、麻酔方法・周術期管理について検討しています。研修医7名の麻酔科研修及び指導と2名の救急救命士による挿管実習を行いました。また、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」の指定研修機関の協力施設として、特定行為が行える看護師の育成に取り組みました。

## 【麻酔実績】 麻酔科管理症例 令和6年1月～12月 単位：例

全身麻酔（吸入）	939
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）	89
全身麻酔（吸入）＋硬・脊、伝麻	727
全身麻酔（TIVA：全静脈麻酔）＋硬・脊、伝麻	55
脊髄くも膜下麻酔	4
硬膜外麻酔	0
伝達麻酔	1
その他	5
計	1,820

【業績集】（令和6年1月～令和6年12月）

<学会発表等>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2024.10.25-27	気道確保困難が予測された患者にレミマゾラムを用い経鼻ファイバー挿管を行った1例	平田孝夫	長畑佐和子	第52回日本歯科麻酔学会総会	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター